創刊2007年6月　2015年6月15日発刊　第32号

かわせみ（日高市の鳥）

June 2015
32号
http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html

埼玉医科大学

国際医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY INTERNATIONAL MEDICAL CENTER NEWS

CONTENTS

2P　当院のJCI認証取得にあたって：病院長　小山　勇
日本で初めて大学病院としてJCIの認証を取得しました
：JCI受審対策本部長　佐伯　俊昭
3P　国際病院評価機構（JCI）の認証を取得しました
：看護部部長　藤山　トキ　副部長　奥泉　孝広
4P　診療科の紹介：心臓内科
5P　急性・重症患者看護専門看護師の資格を取得しました：看護部
摂食嚥下障害看護認定看護師です：看護部
6P　薬の豆知識：薬剤部
7P　MRI検査と金属について：中央放射線部
8P　採血管のゆくえ：中央検査部
9P　骨粗鬆症予防と食生活：栄養部
10P　相談室の移動・相談室のご案内のパンフレット更新
：総合相談センター・がん相談支援センター
11P　ありがとうメッセージを多く頂いた部署へ表彰状が贈られました
：医務課
12P　患者さんアンケート報告：診療サービス委員会
14P　埼玉西武ライオンズ　栗山巧選手に感謝します
：事務部　総務課
15P　私の時間：ピクニック
：脳血管内手術・脳神経外科手術ができるトライアスリートを目指して
16P　次回の国際医療センター市民公開講座について
（お知らせ）：市民公開講座実行委員会

●鎌北湖の春（写真提供：埼玉医科大学写真同好会）

基本理念：患者中心主義のもと安心で安全な満足度の高い医療の提供を行い、かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

使　　命：当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供します。

基本方針：上記の理念に従って患者中心主義（patient-centered）を貫き、あらゆる面で”患者さんにとって便利”であることを主眼とし、患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供致します。

患者さんの権利：当センターは、全ての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。
(1)ひとりひとりが大切にされる権利　(2)安心で質の高い医療を受ける権利　(3)ご自身の希望を述べる権利
(4)納得できるまで説明を聞く権利　(5)医療内容をご自身で決める権利　(6)プライバシーが守られる権利

Your HAPPINESS Is Our HAPPINESS

当院のJCI認証取得にあたって

病院長　小山　勇

このたび、埼玉医科大学国際医療センターは、国際的な医療評価機関である JCIの認証を獲得しました。JCIは米国国内の病院機能評価であるJCを基につくられたもので、米国以外の医療施設の「医療の安全と質」を世界基準で評価する機構です。現在、JCIによって認定された施設は世界で759施設あり、日本では当院を含む13施設が認定されています。今回の認定は大学病院が対象のアカデミック医療部門であり、大学病院では国内初の認定機関となりました。

日本においても病院機能を評価する独自の機構があり、日本の全病院の3割ほどが認証を受けています。もちろん、私たちもすでにこの認証は受けていました。しかし、すべての患者さんに安心で安全な医療を提供するとともに、満足できるサービスを提供するには、まだまだ足りない点があることも事実です。私たちの病院が「国際医療センター」と名打っているのは、単に国際的な水準に達する程度のレベルではなく、世界と肩を並べて競争できる、あるいは世界をリードするような病院になりたいという大きな夢をもっているからです。その一つの証がJCIの認証を受けることでした。

当院では過去2年半近くにわたって受審の準備をしてきました。私たちが日頃行っている医療が国際的な基準でも満足いくものであるかを、世界の病院を熟知しているプロに評価してもらうことが目的でした。医療は「不確実の科学」といわれているように、治療すれば必ず満足のいく結果が得られるわけではありません。しかし、私たち医療スタッフがすべての患者さんに自信をもって全力で治療にあたるシステムやプロセスを確立することができました。医療の質・安全はこれで100%完璧であるというシステムはありませんが、私たちは常に改善していく努力を惜しまないつもりです。

地域の患者さんが本当の意味で安心して質の高い医療を受けられるように、さらに全職員が一丸となって、高い理想に向かって邁進していきます。今後とも皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

日本で初めて大学病院としてJCIの認証を取得しました

ー国際医療センターの理念とJCI認証病院が目指すものー

JCI受審対策本部長　佐伯　俊昭

日本病院機能評価という言葉をご存知ですか。これは病院以外の第三者機関が、患者さんとその家族が安心して診療を受けられる病院であることを認定することです。国内でも多くの病院が認定されています。本来このシステムは欧米を参考にしたものです。JCI(Joint Commission International)とは日本病院機能評価の国際版で、日本の基準よりレベルが高く、国際医療センターが日本の大学病院として初めて認証されました。スポーツでいえば、いわばオリンピック基準で病院が審査され合格したことになります。

JCIの基準は1200以上の項目について審査され、適合した病院に認証を与えています。この基準は、診療の質と安全性は勿論ですが、病院内の感染対策、あるいは災害などに対する対策に不可欠な衛生状態の管理、電気水道、トイレの管理まで、全て清潔な病院にするために必要であり、どれが欠けても皆様に満足していただける病院となりません。

さて、国際医療センターが世界基準の認証を目指した目的とは何でしょうか。当院も、地域の多くの患者さんに信頼をしていただける病院と評価されています。しかしながら、皆様からの多くの御意見を基に、現状で満足しないで、もっともっと高い基準で診療を行う体制にしなければならないと考えています。

安心安全な最新の医療と、まだまだ危険性のわからない最新の医療の区別を、いったい誰が、何時、何処でするのでしょうか。JCIでは、このような事を防ぐために、すべての診療について透明性を高くしており、日常の診療システムの中で患者さんの目線で診療と研究を行っています。

JCI認証病院とは、医療の質は勿論、病院長を中心に病院全てのスタッフが患者さんの為に質の高い安全な医療を行うために、共通の理念と目標をもって運営されています。

国際病院評価機構（JCI）の認証を取得しました

看護部部長　藤山　トキ　　副部長　奥泉　孝広

JCIとは

JCIはアメリカの医療施設評価団体から発展した世界中で医療の質の向上・患者安全を追及する第三者評価機関です。JCIは医療の質の向上・患者安全に対して、病院のシステムがいかに機能しているかを求めています。特に病院全体としてのPlan（計画）→Do（実行）→Study（反省・学び）→Act（改善）の４段階が機能しているかを重要視しています。

審査では、院内で定めた明文化された方針・手順がJCIの基準を満たしているか。また、手順とおりに実行されているかを文書や職員へのインタビューを通して評価されます。

JCIの認証を取得している医療機関は全世界で745施設、日本では13施設が認証を取得しており、当院は大学医療センター部門として国内初の認証病院となりました。

看護部としてJCIを受審する意味

看護部は「私たちは一人ひとりを尊重し、良質で満足度の高い看護をめざします」という理念のもと、質の高い看護サービスの実践、患者中心のチーム医療の推進、看護実践能力の向上、信頼される人間性豊かな人材の育成を方針として掲げています。これらを具現化するためにJCIを受審することの意味は大きく、最終的には当院で診療を受ける患者さんからの信頼を獲得することにつながると考えました。

看護部の取り組み（一例）

◆患者確認の徹底

注射や処置を行う際は、最低でも患者さんのフルネームと生年月日の2つ以上の識別子を用いて、患者さんの確認を行ないます。

◆引継ぎの徹底

患者さんが他の病棟に移る際、看護師の勤務が変わる際、手術や検査を行なう際などに、重要な項目を次に患者さんを担当する看護師に確実に引き継ぎます。

◆使用に注意を要する薬品の取扱い

名前や形状の類似した薬品など、過誤が生じた場合に患者さんに被害を及ぼす可能性がある薬品を取り決め、研修を受け、資格を与えられた看護師が、その薬品を取り扱います。

◆手術部位の間違え防止

手術を行なう部位や手技が正しいことを確認するため、手術する部位にマーカーペンで目印を付けます。また、手術を行なう直前に、手術を行なうスタッフ全員で、患者さんの確認、術式、手術に使用する器械などが正しいか確認します。

◆手洗い（手指消毒）の徹底

患者さんを感染から守るため、スタッフと同様に患者さんやご家族にも手洗い（手指消毒）を徹底していただきます。

◆転倒・転落の防止

転倒しやすいスリッパ、サンダルの着用を禁止し、踵のある靴を推奨しています。また、患者さんへの転倒・転落防止策の指導も行なっています。

今後も、医師・看護師をはじめ、全てのスタッフが一丸となって安全な医療を安心して受けられるよう取り組みを続けてまいります。患者さんにもご協力いただくことが多々あると思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

審査員からの質問を受けている様子
（左：審査員　右：看護師）

診療科の紹介

心臓内科

新しくなった心臓内科

診療部長　岩永　史郎

当院は、2014年4月に私、岩永史郎が心臓内科の教授・診療科長(現 診療部長)となり、8月からは加藤律史が不整脈科の教授・診療部長に、さらに、本年3月からは村松俊裕が教授となり、新しい指導体制に移行しました。この三名が、西村教授と松本教授(現東松山医師会病院院長)とともに、協力して運営しております。

私は、当院に赴任する以前に、長く都内の大学病院に勤務してまいりましたが、東京都にはCCUネットワークという心臓病の救急治療に携わる医療機関と、東京消防庁、都医師会、都福祉保健局で構成された協議会があります。これによって、緊急入院を複数の医療機関で分担し、一箇所に偏らずに診療できる体制が構築されています。しかし、埼玉県では大学病院など高度な医療を提供できる医療機関が、地理的に偏って存在しています。埼玉県の西側、広い範囲にお住いの方が、緊急性が高い心臓病、特に重症の病気になられた場合には、当院に搬送されることになります。

心臓病は寒い時期に悪化しやすいため、秋から冬にかけては、当診療科に救急で来院される患者さんが毎日、複数入院していらっしゃいます。幸いにして、小山病院長の指導のもと、緊急入院される方のために、十分な数のベッドを確保する体制ができています。緊急入院を必要とされる方を他院にお願いすることなく、当院で責任を持って診療することが可能です。緊急入院された方の多くが、退院後にも治療を継続する必要がありますが、病状が安定した後には、積極的に連携施設での診療をお願いしています。もちろん、連携施設に通院されている場合でも、緊急時には当院へ直接に受診いただくことが可能です。当院に通院中でありましても、近くにかかりつけ医をお持ちになることを強くお勧めしています。

当科では、重症の心血管疾患をお持ちの方、または他院で治療が困難と言われた方へ、より高度な医療を提供できる体制を強化してきています。これまで、急性心筋梗塞の冠動脈カテーテル治療、不整脈発作へのカテーテルアブレーション、致死的不整脈へのデバイス治療、心臓移植など重症心不全のための集学的治療に取り組んできました。さらに、弁膜症や先天性心疾患などの器質的心疾患の内科的治療やカテーテル治療を充実させ、難治性疾患である肺高血圧症への専門治療を行う準備もしております。

国際医療センター心臓内科は、患者さんが安心して受診できるように、医師や医療スタッフが提供する医療水準向上を目指した教育、当大学の医学部学生のみならず、埼玉県における若手医師の育成にも進んで努力いたしますので、今後ともご支援ご厚情を賜りますようにお願いいたします。

～お知らせ～

7月4日（土）に行われます第6回国際医療センター市民公開講座は、心臓病センターの担当です。

西村教授、加藤教授、村松教授が「こんな時は心臓病かも」をテーマに講演しますので、是非ご参加ください。詳細は、16頁をご覧ください。

急性・重症患者看護専門看護師の資格を取得しました

看護部

中村　真巳

みなさん、専門看護師という資格をご存知でしょうか。専門看護師とは看護師として5年以上の臨床経験を積んだ後、看護系大学院修士課程で必要な単位を修得し、大学院修了後に日本看護協会が実施する認定審査に合格することで取得できる資格です。専門看護師には様々な専門分野があり、私は昨年11月に“急性・重症患者看護”という分野で認定を受けました。

私が専門看護師を目指した理由は、日々患者さんのケアを行う中で患者さんの希望が治療に反映されていないのではないかと感じたり、医療者主導の医療になっているのではないかと感じることがあり、患者さんの意思を尊重し満足のいく医療を受けていただくためには更なる勉強が必要であると実感したからです。

専門看護師には『実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究』という6つの役割があります。患者さんやそのご家族へ、より質の高いケアを“実践”したり、医療者同士が協働してより良い医療を提供できるよう“調整”を図ったり、あるいは医療者からの“相談”を受けたりします。また、“倫理調整”では患者さんやご家族の権利を守るための働きかけをします。特に、急性・重症患者看護という分野では重篤な患者さんも多く、治療方針をご本人に代わってご家族が意思表示しなければならない場面や、早急に意思決定しなければならない場面があります。このような時、患者さんやご家族が納得して意思決定できるように支援したり、患者さんの価値観を尊重しながら最善の治療が受けられるように調整を図ったりします。

重症な患者さんや突然の入院となった患者さんやご家族、あるいは医療スタッフからの相談にも対応しています。

摂食嚥下障害看護認定看護師です

肺炎を予防するために

看護部

伊藤　順子

摂食嚥下障害看護認定看護師の仕事は、患者さんの「食べる」を支えることです。「食べることは生きること」そう言われたりする方もいますが、体調不良で食欲がない、うまく飲み込めなくなった等、なんらかの理由で食べられなくなることは誰にでも起こり得ることです。健康な方ならば唾液を誤嚥しても肺炎にはなりませんが、食べないでお口を使わないと摂食に使う筋肉が衰え、また唾液が減ってしまうとお口をきれいにする作用が減り、お口の中で増えた細菌が肺の方に流れてしまうと誤嚥性肺炎となってしまいます。

厚生労働省から公表された平成23年死因順位は、高齢化に伴い第1位悪性新生物、第2位心疾患、そして脳血管疾患にかわり第3位は肺炎になりました。高齢者の肺炎の多くは誤嚥によるものだと考えられており、お口をきれいにすることが肺炎予防に有意であることも知られるようになりました。食べていなくてもお口を不衛生にしないことが肺炎予防になります。ポイントは、唾液の分泌量が減っていく夜間就寝前にお口をしっかりきれいにすることが望ましいです。そして、あれ？今日はいつもと違うな？と体の不調を感じる時は、噛みやすい消化の良い形態を選択し、ゼリーやプリンなどの飲み込みやすいものや水分の多い経口ゼリーなど、無理せずに少しだけ摂取できるものを続けていると良いでしょう。また飲み込む力が低下していると感じるときは、摂食の姿勢も傾いてしまっているとむせ込んでしまいますし、一口量が大きいと喉につまりやすいので注意しましょう。そして、義歯のお手入れやお口のケアを忘れずに「食べられるお口」を作っておくことが大切です。みなさんにいつまでも美味しいと感じてもらい、幸せな気持ちになっていただきたいと願っております。

薬の豆知識

薬剤部

塗り薬の選び方・使い方

主任　吉本　夏希

病院から処方されるお薬だけではなく、街中の薬局やドラッグストアにもこれからの時期、水虫や虫刺されなどに対したくさんの塗り薬が店頭に並びます。

塗り薬には同じ成分でも軟膏・クリーム・ローションなど、いくつも種類がありますので、今回はそれぞれの種類と特徴をご紹介します。

また当院で処方される頻度の高い、ヒルドイドソフト軟膏®などの保湿剤の使い方についてお話しさせていただきます。

【塗り薬の種類と特徴】

	軟膏	クリーム	ローション
	油脂性のワセリンを主に使用した半固形製剤（水溶性もあります）	水と油を混ぜて乳化した基剤を使用した半固形製剤	水やアルコールなどを基剤とした外用液剤
べたつき	◎	○	△
伸び	×	○	◎
浸透性	○	◎	◎
化膿部への使用	◎	△	×
使用方法	やさしく伸ばすように塗布しましょう	白さがなくなるまでやさしくなじませましょう	分離しやすいので、良く振ってから使用しましょう
適した使用部位	手荒れ(乾燥ヒビ割れ) 潰瘍、水疱	固くなった角質や湿疹	毛髪のある部位

【保湿剤の使い方】

カサカサの皮膚は、本来もっているバリア機能が落ちてしまいます。保湿剤はそんな皮膚に水分を与えることや、皮膚の水分を保持させる役割があります。

- 皮膚のしわにそって、マッサージするように塗り込ませて使用してください。
- 皮膚が水分を多く含んだ入浴後に塗ると一般的に効果が高くなります。
- すぐに効果が出るお薬ではないので、まずは連日使用してみましょう。

※ご不明な点がございましたら、薬剤部・外来お薬引き換えカウンター（D棟1階）までご相談ください。

塩野義製薬株式会社
http://www.shionogi.co.jp/wellness/diseases/atopic.html

MRI検査と金属について

中央放射線部
診療放射線技師　本木　杏

●MRI検査の概要

MRI検査とは、強力な磁場と電波を使って、体内の状態を検査する方法で、様々な角度から患者さんの体の断面の写真を撮影することができます。また造影剤を使用せずに、血管の情報を得ることもできます。血管の詰まりや腫れ、炎症を見つけ出すこともできます。

正常時の画像

脳、脊椎、腹部、骨盤、関節などの病気や怪我を診断する際に、よく利用されています。

一方でMRI検査室には金属を持ち込めないという、特別なルールがあります。

●なぜ金属製品が持ち込めないのか？
持ち込んでしまったらどうなるか？

少々難しいお話ですが、金属は「強磁性体」と「反磁性体」に大別することができます。

金属による画像の影響

「強磁性体」とは、磁石に反応する（引っ張られる）金属類で、鉄（Fe）・コバルト（Co）・ニッケル（Ni）などがあります。また、「反磁性体」とは簡単に言うと磁石に反応しない（引っ張られない）金属類を指します。

実はMRI検査では「強磁性体」か「反磁性体」に関わらず、両方が問題になります。まず「強磁性体」ですが、検査室に持ちこんだ場合にどのような事象が起きるでしょうか?

検査室内には強力な磁場が発生しており、強磁性体を持ち込むと、その金属製品がMRI装置に吸着（引っ張られる）してしまう可能性があります。その吸引力は強大なもので、装置の1m位手前から急激に強くなります。例えば装置の近くで「はさみ」を手放したとします、「はさみ」は装置に向かって一直線に引き寄せられます。引き寄せられるというより、飛んで行きます。この現象は「ミサイル効果」とも呼ばれており、非常に危険な事象です。

検査中にスタッフが「はさみ」を持ち込んでしまったら‥‥。怖いですね!

そのような事を起こさないように、我々スタッフは教育、研修を常に行っています。

また、ついうっかりを防止するためにもMRI検査室スタッフはポケットの無いタイプの制服を着用しています。患者さんにも検査前に問診や金属探知機での金属チェックを行っています。ご安心下さい。

●金属製品が検査や画像に与える影響について

反磁性体であれば、検査室に持ち込むことができるでしょうか？答えは、「yes」です。反磁性体であれば先程の「ミサイル効果」は起こりません。実際に最近の手術で使用される医療器具（人工関節、動脈瘤クリップ、プレートなど）の材質は反磁性体のものが多くなってきています。しかし吸着しませんが、画像には影響を与えてしまいます。その反磁性体金属の周りは真っ黒になり何も映ってきません。例として、図では正常時の画像と金属（入れ歯）が影響した画像を載せてあります。

また場合によっては、金属製品があるために、検査そのものが中止になってしまうこともあります。MRI検査にとって、金属製品（強磁性体も反磁性体）は天敵なのです。

金属製品以外でも、電子機器や磁気式キャッシュカードやその他のカードなどを間違って持ち込むと、読み取り不可能になることや故障する可能性があります。

酸素ボンベや車椅子、ストレッチャー、生体モニターなどの医療器具も、MRI検査室専用の製品を使用しています。

ミサイル効果によりMRIに吸着したベッド
独立行政法人医薬品医療機器総合機構（http://www.pmda.go.jp/）

採血管のゆくえ

採血に関する疑問にお答えします。

中央検査部
主任　佐藤　雅子

<採血室場所>

採血室は3か所の外来センターに各１か所ずつあります。採血室は、朝8：00より開いています。なお、検査結果が報告されるまでに１時間ほどかかりますので、診察前採血がある方は、予約時間の１時間前までに来院してください。また朝は混雑が予想されますので、余裕をもってお越しいただきますようご協力お願いいたします。また当センターでの採血呼び出しについては、呼び出し装置で対応しています。

<採血管のゆくえ>

みなさんから採血した血液は、結果が出るまでにどのような処理がされているのでしょうか？（図1）

遠心分離するものは1分間に3000回転というスピードで10分間遠心分離という操作をします。すると血液は、液体成分（血漿または血清）と血球成分に分かれます。（写真1）そうして、はじめて分析装置に載せます。検体はすべてバーコードで管理されています。

一方、院内で検査を行っていない項目につきましては、前処理(たとえば遠心分離など)を行った後に検査材料を検査センターに運搬後、検査を行っています。

<採血室で質問されることの多い事項>

Q，採血の机にあるカラフルな回転しているものは？（写真2）

A，ミキサーといい、検査の内容によって採血管の中に薬が入っていて、血液とよく混ぜるためのものです。

写真2

Q，採血のあとはお風呂に入っても大丈夫？

A，採血だけでしたら大丈夫です。（その他の検査等がある場合はその時にお聞きください）入浴時に腕にテープが付いているときは、はがしてください。長時間テープを貼っているとかぶれの原因になります。

Q，採血後に血液が出てきてしまいました。どうしてですか？

A，採血後、針を刺したところの圧迫が不十分で出血してしまうことがあります。ワルファリンなどの抗凝固薬やアスピリンなどの抗血小板薬を服用されている方、血小板が少ない方は、特に血が止まりにくいことがありますのでテープの上からさらに５分以上圧迫する必要性があります。テープをはがす際には、必ず止血されていることを確認していただきますようご協力お願いいたします。

図1

遠心前　　遠心後

写真1

骨粗鬆症予防と食生活

～骨とカルシウム～

栄養部
管理栄養士　岡本　剛

骨粗鬆症とは、年を取ることや閉経、食事でのカルシウムの摂取不足や運動不足などが原因で骨に含まれるカルシウムが減り、骨がスカスカして脆（もろ）くなり骨折しやすくなる病気です。

厚生労働省の行っている平成25年国民栄養調査のカルシウムの摂取量を見ると30代男性が454㎎／日、女性が441㎎／日となっています。推奨量と比較すると大幅に下回っています。

飽食の時代、過剰摂取が問題となっている反面、カルシウムは唯一摂取量が不足している栄養素です。

骨粗鬆症予防ためには、多くの食品を朝食・昼食・夕食バランスよく摂取することで、カルシウム以外のビタミンやミネラルも摂ることができます。カルシウムの吸収を助ける栄養素もあるので3食バランスよく食事を摂ることが骨粗鬆症予防につながります。

〈カルシウムの摂取基準（推奨量）〉

年齢	男性	女性
	推奨量（mg/日）	推奨量（mg/日）
12～14歳	1000	800
15～17歳	800	650
18～29歳	800	650
30～49歳	650	650
50～69歳	700	650
70歳以上	700	600

（日本人の食事摂取基準　2015年版より）

〈カルシウムを多く含む食品〉

食品名	1回使用量(g)	目安量	カルシウム(mg)
わかさぎ	80	中2～3尾	360
牛乳	200	コップ約1杯	220
いわし油漬缶	50	1/2缶	175
小松菜	100	約1/3束	170
凍り豆腐	20	1個	132
プロセスチーズ	18	スライスチーズ1枚	113
ひじき	8	大さじ1杯半	112

（日本食品基準成分表2010を参考に作成）

〈カルシウムの吸収を助ける食品〉

カルシウムは、吸収されにくい栄養素のため食品によって吸収率に差があり、乳製品は50%、小魚30%、青菜18%程度です。食事からとったカルシウムの吸収を助けるのがビタミンDを多く含む食品です。ビタミンDを多く含む食品は鮭や、さんま・さばのような青魚、天日干しにした干し椎茸などです。食品からとるだけでなく、日光（紫外線）に当たることで体内でもビタミンDはつくられます。

〈カルシウムの吸収を妨げる食品〉

インスタント食品、スナック菓子、炭酸飲料などリンを多く含む食品やアルコールの飲み過ぎはカルシウムの吸収を妨げるので注意しましょう。

コーヒーに含まれるカフェインには、利尿作用があり、飲みすぎるとカルシウムも一緒に排泄されることがあるので飲み過ぎには注意しましょう。

〈適度な運動をしましょう〉

骨を丈夫にするために、適度な運動が大切です。

運動は、骨に刺激を与えることで食品から取り入れたカルシウムを骨に沈着しやすくします。日常生活の中でこまめに身体を動かすように心がけましょう。

※運動の強度は、主治医に確認しましょう。

相談室の移動と「相談室のご案内」のパンフレット更新について

総合相談センター・がん相談支援センター　下山 友美

総合相談センター・がん相談支援センターは、今年1月にC棟1階へ移動しました。場所が分かりづらいため、下記の院内図を参考にしていただくか、院内スタッフまでお問い合わせください。

また、「相談室のご案内」のパンフレットも一新しました。総合相談センターは薄い緑の紙から青の用紙に、がん相談支援センターはピンクの紙から黄色の用紙へ変更しました。表紙の絵柄も変更し、親しみが持ちやすくなるように作成しました。コンシェルジュや各病棟、各外来、入退院ラウンジなどにパンフレットを準備しております。

ご相談をご希望される時は、直接来室されるか、各コンシェルジュなどのスタッフへお声掛けください。また、面談での相談は事前に予約された方が優先になりますのでご了承ください。

総合相談センター
　直通連絡先：042-984-4106
がん相談支援センター
　直通連絡先：042-984-4329

「相談室のご案内」の新しいパンフレット

がん患者サロンのご案内

～みなさんもお話ししてみませんか？～

当院では、病院内のがん認定看護師やがん相談支援センターにより、「がん患者サロン」を立ち上げました。

がん患者サロンは、がんの患者さんやご家族がお互いの気持ちや体験を話ししたり聴いたりする場所です。このサロンは、「誰にも話したことのない想い」を話し、聴くことで、気持ちを分かち合う場所です。ミニレクチャーでは、今までに「緩和ケア」「活用できる社会資源」「がん患者さんのリハビリ」に関するレクチャーを行ってきました。

各コンシェルジュやローソンにもパンフレットを設置しています。申し込みは不要ですので、ぜひご利用ください。

◆日時：毎月第3土曜日13：00～15：00

30分のミニレクチャーの後、参加者同士でお話をしていただきます。お話からの参加もできます。

◆場所：C棟3階　ラーニングセンター

A棟のエレベーター3階にて降りていただくと、目の前にラーニングセンターがあります。リハビリテーションセンターの近くです。

ラーニングセンター

今後の予定
　6月20日　栄養・食事について
　7月18日　がんの患者さんのこころ
※8月はお休みです

今後の予定については院内設置のパンフレットや当院ホームページにてご確認いただけます。

問い合わせ先：がん相談支援センター(C棟1階)
　TEL：042-984-4329

ありがとうメッセージを多く頂いた部署へ表彰状が贈られました。

医務課
金子　美穂

多くのメッセージありがとうございました。

平成26年1月～12月の集計結果をもとに、表彰式が行われました。皆様から頂いたご意見の総計は1677件で、そのうちありがとうメッセージ（感謝の言葉）は1302件でした。多く寄せられた上位の部署へ表彰状が贈られました。

表彰式の様子

《D棟５階病棟より喜びの声》

ありがとうメッセージは、私たち職員の励みであり元気の源です。「しっかり頑張って！」という、エールでもあると思います。患者さんやご家族の方に、「この病院で治療ができてよかった」と思っていただけるよう、スタッフ一同これからも精一杯頑張ります。

表　彰　部　署　名	
D棟５階病棟	E棟５階病棟
E棟３階病棟	D棟３階病棟
B棟４階病棟	消化器内科　消化器内視鏡科
脳血管内治療科	消化器外科　下部消化管外科
泌尿器腫瘍科	心臓内科
清掃部門	栄養部
リハビリ訓練室	

【ご意見箱設置場所】
- 総合コンシェルジュ〔C棟1階〕
- 入退院ラウンジ〔C棟1階〕
- 外来コンシェルジュ（画像診断受付）〔C棟2階〕
- 救命救急センター受付〔B棟1階〕
- 各病棟食堂

【記入用紙】
- 各センターコンシェルジュカウンター
- ご意見箱設置箇所
- 入院手帳の最終ページ

今後も患者さんの看護や治療・検査等に昼夜奮闘している看護師・医師等の医療者への励ましのメッセージを受け付けております。皆さまの応援を励みに、これからも良い医療をめざします。

患者さんアンケート報告

診療サービス委員会
委員長　小山　政史

当院では外来・入院患者さんの当院への評価・満足度を把握し、要望・問題点の改善や満足度の向上に役立てることを目的に、年に一度のアンケート調査を実施しています。今回は平成27年2月16日～2月21日に調査を実施し、多くの患者さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。その結果をここにご報告いたします。

●外来患者さんアンケート

（1）調査件数　　配布件数　1,200件（一日200件）　　回収件数1,101件　　回収率91.8%

（2）項目別集計結果

（3）ご意見・ご要望

167名の方からご意見やご要望を頂きました。
その中でも特に多かったのが以下の2項目となります。

▶待ち時間に関する事項（27名）
▶駐車場に関する事項（25名）

●入院患者さんアンケート

（1）調査件数　　配布件数　598件　　回収件数330件　　回収率55.2%

（2）項目別集計結果

（3）ご意見・ご要望

79名の方からご意見やご要望を頂きました。
その中で多かったものは次のとおりです。

▶院内施設や病棟環境に関する事項（30名）

今回のアンケートの結果の「やや不満」、「不満」と感じられる方が多かった項目やいただいたご意見・ご要望は、今後も引き続き診療サービス委員会で検討し改善するよう努力してまいります。アンケートにご協力いただきました皆様に、お礼申し上げます。

※なお、当院では患者さんやご家族からのご意見・ご要望を随時受け付けております。用紙や提出箱は、総合コンシェルジュ、外来コンシェルジュ、各病棟食堂などにございます。こちらもご利用ください。

埼玉西武ライオンズ　栗山巧選手に感謝します

事務部　総務課
課長　武久　秀夫

公益社団法人がんの子どもを守る会を通じて、この度、埼玉西武ライオンズのキャプテン・栗山巧選手より小児がんの子どもたちを支援したい、役に立ちたいと当病院をはじめとする埼玉県内のいくつかの病院に申し出がありました。

9月13日西武ドーム（現　西武プリンスドーム）での試合40席分を招待していただきました。小児がん患者ご家族を中心として病棟スタッフも参加しました。当日は、応援グッズを用意して応援しました。（写真1）とても楽しい観戦になりました。

また、頂いた寄付により入院している子どもたちには、共有して使えるままごとセットのおもちゃ、お絵かきができるらくがき教室、ブロック、みんなで鑑賞できるテレビとDVDプレーヤー、カスタネット、タンバリン、そして院内学級には、スピーカー等を揃えさせて頂きました。

子どもたちは、家族や保育士といっしょにおもちゃで仲よく遊び、楽しく歌を歌って遊んでいます。院内学級では、スピーカーの「音がいい」と子どもたちに喜んでもらいました。

今までよりも子どもたちが元気に遊ぶ姿と笑顔を見る事ができて　本当にうれしく思います。子ども・家族・職員一同感謝申し上げます。

試合の応援に使ったグッズです。（写真1）

寄付によって頂いたおもちゃで、みんなで楽しく遊んでいます。

栗山選手へお礼のメッセージをお届けしました。

私の時間

総合診療・地域医療科

ピクニック

教授　古屋　大典

当院から秩父へ向かって20分ほど車を走らせると、飯能市の東吾野地区に着きます。木材の「西川材」が有名で、自然の美しい、また山菜のおいしい楽園です。小生はそこで地域医療を経験させていただきました。往診やハイキング・イベント「飯能を歩こう」などの際、顔振峠へよく出かけました。そこは昔、源義経が兄から逃げる時に通ったとの伝説から、その名が付いたと言われています。

最近のデジタルカメラはコンパクトなので、いつも持ち歩いていました。（写真1）は八徳という集落に1本だけ咲いているソメイヨシノです。この辺りに訪問診療でみている90歳代の女性がいます。いつも、お嫁さんから「先生、お土産ね」と言われ、野菜やキノコをどっさり頂きました。（写真2）には阿寺からみた東京スカイツリーが写っています。地元の人から「おすわさま」と呼ばれる神社では、秋祭りの獅子舞が圧巻です。最後に、まるで南米マチュピチュのような、美しい集落「ユガテ」に咲いたイカリソウを紹介します（写真3）。すぐそばの岩場ではロッククライミングが楽しめます。

写真1

写真2

写真3

私の時間

脳血管内治療科

脳血管内手術・脳神経外科手術ができるトライアスリートを目指して

助教　溝上　康治

神奈川県の湘南から脳血管内治療科に赴任して早１年が経ちます。脳血管内治療エキスパートの知識や技術、経験を学ぶ傍ら、趣味のトライアスロンを楽しんでいます。

トライアスロンとはご存知の通りスイム・バイク（自転車）・ランを連続して行う競技で、短距離と長距離があります。私は長距離の大会に年2回ほど出場しています。上位入賞には到底及びませんが、大会を楽しむ為には、それ相当のトレーニングが必要で、仕事の合間をぬってマイペースに取り組んでいます。バイクにおいては折角の秩父の山々を利用しない手はありません。正丸峠や顔振峠、白石峠、定峰峠など、峠という峠をせっせと越えています。おかげで最近では埼玉県西部の土地勘がだいぶ付いてきました。平日は超早朝に季節の変化を感じながら病院の敷地内をランニングしています。

つい先日、第31回全日本トライアスロン宮古島大会に出場してきました。あいにくの悪天候でスイムが中止され、ラン6.5km・バイク157km・ラン42.195kmとなり、ガラスの膝を持つ私としてはかなり辛く最後のランは歩きっぱなしでしたが、最後は家族や応援してくれたボランティア・島民の皆さんの力を借りて、何とか制限時間ぎりぎりで完走することができました。今回は完走率69.1%と過去に例のない過酷なレースだったようです。

次は灼熱地獄の皆生トライアスロン（鳥取県米子市にて開催）に出場予定です。

これからも、診療に趣味に一生懸命でいたいと思います。一生懸命だからこそ楽しい！

次回の国際医療センター市民公開講座について（お知らせ）

第6回目は「こんな時は心臓病かも」

市民公開講座実行委員会

♠ 次回の市民公開講座は、**心臓病センターの主催**で以下の日程で行われます。皆様のご来場をお待ちしております。

・日時：2015年7月4日（土）　ＰＭ12：00開場
・会場：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール（日高キャンパス）埼玉県日高市山根1397-1
・テーマ：**「こんな時は心臓病かも」**

♣ **相談コーナー**　12：00～15：30
・お薬、看護、医療、栄養、リハビリの相談コーナーがあり、どなたでもご相談できます。

◆ **予約は不要、参加は無料です！**
お気軽にお立ち寄りください。
・問合せ：市民公開講座実行委員会
TEL：042-984-4638

♥ **プログラム**
・12：05～「～心に響く癒やしのコンサート～」
・13：40～講演
「心臓病の種類と症状」
心臓内科　教授　西村重敬
「不整脈疾患」
不整脈科　教授　加藤律史
「冠動脈疾患と心不全」
心臓内科　教授　村松俊裕
「心臓病の予知と予防法」
集中ケア認定看護師　塩澤直樹
「弁膜症の症状と治療」
心臓血管外科　准教授　中嶋博之

外来診察予約について

【外来予約センター】（8:30～17:00）
☎042-984-0474　☎042-984-0475

＊がんセンター受診の際には紹介状をお持ちください。
＊心臓病・脳卒中センターでは急を要する際、紹介状をお持ちで無い場合でも受診可能ですので、ご連絡ください。
＊当院ホームページから外来診療（初診のみ）のインターネットでの予約を受け付けています。医療機関からはもちろん、患者さんや御家族がご自宅から予約可能です。ご活用ください！
詳しくは、埼玉医科大学国際医療センターHPをご覧ください。
https://www2.saitama-med.ac.jp/simc/yoyaku/index.php

面会について

【面会時間】
（平日）　午後 1時 ～ 午後8時
（土・日・祭日）午前11時 ～ 午後8時
上記時間以外のご面会はお断りしております。

【面会受付】C棟1階総合コンシェルジュにて受付をし、面会証をお受け取りください。

＊アレルギーや香りに敏感な患者さんもいらっしゃいますので、お花はご遠慮ください。
＊**小学生以下（12歳未満）のお子様の面会はご遠慮いただいております。**

埼玉医科大学国際医療センターニュース
June 2015　第32号【院内配布用】
編集・発行　埼玉医科大学国際医療センター広報委員会
住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1
TEL：042-984-4128
発行責任者　小山　勇
発行日　平成27年6月15日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。

看護師募集中

学校法人 埼玉医科大学

看 護 師 募 集 中 !!

最も環境の整った大学病院で、
地域に密着した高度な医療に貢献しませんか。

※病院見学、インターンシップ、いつでも大歓迎 !!　Facebook も更新してます！
詳しくは QR コードより
看護師求人ホームページ　http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/nurse
看護部 Facebook ページ　https://www.facebook.com/smu.nurse
埼玉医科大学　総務部　人事課　0120-61-1181　TEL: 携帯の方 049-276-1115